

第6期（2024年10月1日～2025年9月30日）

事業報告

1. 事業運営の総括

第6期（2024年10月～2025年9月）の内外環境を振り返りますと、国内経済は、緩やかな持ち直し基調を維持しました。全般的な物価高と実質賃金の伸び悩みによる消費者の節約志向が見られる一方で、堅調な企業業績や設備投資に支えられた内需が景気を下支えしました。

7月に発表された政府の「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針）」のなかでは、「中長期的に持続可能な経済社会の実現」のための取り組みとして、「Well-being の高い社会の実現に向け、働く、学ぶ、健康、子育て、地域の生活に関連する基本計画や大綱において、生活の Well-being 改善につながる実効的な KPI の設定を進めるとともに、Well-being の把握を継続・強化する。次世代の社会生活や価値観の変化を反映する経済指標を検討し、将来的な S N A 国際基準への反映も見据えた取組を推進する。」と政策目標として、国民の Well-Being の向上が前面に打ち出されると同時に、それを実現するために Well-Being 改善につながる実効的な KPI の設定や Well-Being の把握が重要性な施策として明記されました。

そうしたなか当法人では、スマートシティ・まちづくりの最終ゴールは市民の Well-Being の向上にあるという理念のもと、中間支援組織としてさまざまな活動に取り組んでまいりました。具体的には、当法人が開発し、デジタル庁に採用されている地域幸福度（Well-Being）指標をテーマに掲げた特別フォーラム（2025年7月）やウェビナーの開催等を通じて、広く社会に対して、その取り組みの重要性や最新の情報の発信を続けるとともに、会員向けにはメールマガジンや会員サイトでの情報提供、さらには WEB サロンの開催等の活動を行ったほか、新たな情報・知見共有プラットフォームとして、「ナレッジシップ」サービスを開始しました。

また、「WBPD OASIS プログラム」の展開を中心とする地域幸福度（Well-Being）指標の開発・普及、スマートシティ推進人材育成のための研修プログラム「City-Region MAP プログラム（C-R MAP プログラム）」の開発・提供など、協調領域における活動に精力的に取り組んでまいりました。

この結果、2025年9月現在、「地域幸福度（Well-Being）指標」を活用する自治体は200団体を超え、今後もさらに拡大する見通しです。

また2024年11月には、世界最大のスマートシティ関連イベントである Smart City Expo World Congress に3年連続で日本パビリオンを出展、会員自治体・企業様にご出展いただくとともに視察研修を実施しました。

最後に、事業収支につきましては、会費収入、その他研修等の売上ともに前期比では減少したものの 148 百万円と高い水準を維持。こうしたなか、期初の方針通り、コロナ禍で生じた剰余金約 19 百万円を積極的に活用した事業を展開した結果、約 15 百万円の赤字となりました。コロナ禍で積み残した剰余金はほぼ使い切った形となりますので、今後は、毎期の収入の範囲内で皆さまのお役に立つ有意義な活動を展開していく予定です。

1-1. 入会状況（2025年9月30日現在） ※第6期末での退会を含まず

入会承認済の会員総数は 819 (前期末比 +61)、内訳は以下の通りとなっております。

- 1) 正会員 A : 68 (▲2)
- 2) 正会員 B : 16 (▲2)
- 3) 準会員 : 31 社 (+4)
- 4) 賛助会員 : 704 (+61)

中央省庁 8 (+1)、地方自治体 370 (+26)、大学 69 (+8)、
その他団体 257 (+26)

1-2. エグゼクティブ・アドバイザーの就任状況

3月末現在で 27 名の有識者の皆さまにご就任いただいております。

なお、2024年10月1日付で新たに 3 名が就任しました。

【新任（2024年10月1日付）】

古賀 千絵氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教)
竹内 純子氏 (国際環境経済研究所 理事)
矢島 洋子氏 (三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 執行役員)

1-3. 理事の異動

2025年3月27日付で、内山清行理事が辞任。内山清行理事の後任として、4月8日付で隅浩一郎氏が理事に就任しました。

2025年6月24付で、村上裕史理事が辞任。村上裕史理事の後任として、7月1日付で工藤一成氏が理事に就任しました。

7月末現在の役員一覧は下記の通りとなります。

代表理事	南雲 岳彦 (三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 専務執行役員)
専務理事	北村 達也 (日本経済新聞社)
理事	隅 浩一郎 (日本経済新聞社 常務執行役員)
理事	工藤 一成 (三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 執行役員)
監事	上平 光一 (タックスネットワーク パートナー 公認会計士 税理士)

2. 第6期事業報告

2-1. 事業活動実施状況

昨年10月以来、以下の活動を実施しました。

1) 特別フォーラム

2025年7月15日（水）日経ホールにて開催しました。

特別フォーラム「Well-Being 指標が結ぶデジタル公共財の横展開と地方創生 2.0
～地域 DX/GX/AX の推進による Well-Being 社会の実現に向けて～」

開催日時：2025年7月15日（火）10:00～18:00

開催場所：日経ホール（同時 LIVE 配信）

共催：日本経済新聞社

後援：内閣府、デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、
日本貿易振興機構（JETRO）

当日視聴者数：1,224名（オンライン視聴（ユニークデバイス）1,126名、来場者98
名）

アーカイブ動画：9月2日（火）より日経チャンネルにて配信中

採録記事：9月9日（火）掲載（日本経済新聞全国版朝刊）

2) Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2024 Japan パビリオン出展、海外視 察研修

2024年11月5日～7日にスペインバルセロナで開催された「Smart City Expo World
Congress (SCEWC) 2024」へのJapanパビリオン出展と視察研修ツアーを下記の
通り、実施しました。

また、2024年12月25日／日本経済新聞朝刊（全国版）に3ページにわたって、「バ
ルセロナ Smart City Expo World Congress 2024 特集記事」を掲載したほか、本年
2月末より日経電子版にて「ゼロカーボン・Well-Being 社会の実現に向けて」を掲載
しています。

SCEWC2024 Japan パビリオン出展・視察研修プログラム実施概要	
実施期間	2024年11月4日（月）～7日（木）※現地集合・現地解散 イベント開催期間：2024年11月5日（火）～7日（木）
出展団体	Japanパビリオン（120m ² ）、東京都ブース（120m ² ）計240m ² に、22 社・団体が出展 ブース訪問者数約2,800名（前年比40%増） <主な出展団体・企業名> 東京都、内閣府地方創生事務局（つくば市、大阪市）、PLATEAU、 横浜市、神戸市、名護市、茨城県境町、ジェトロ京都、JAXA、 JICA、NEC、アビームコンサルティング、インターネットイニシアテ ィブ（IIJ）、H-U Tokyo Lab.（日立東大ラボ）、MAPXUS×川崎重工

イベント開催	1. Well-Being City Theater セミナー 計 44 回 2. 各国ブースとの相互訪問 3. 外部視察訪問（バルセロナ市役所、バルセロナ Health Hub） 4. 在バルセロナ日本総領事館共催レセプション「ジャパン・ナイト」
参加人数	総人数 145 名 (うち視察研修プログラム参加者 46 名)

併設する国際会議では、環境省松澤地球環境審議官のほか、神戸市黒田副市長、国土交通省十川企画専門官のご登壇をアレンジしました。産官学連携した地域脱炭素事業、PLATEAU によるデジタルツイン活用推進、循環経済の取り組みに世界のスマートシティリーダーが注目しました。SCI-Japan としても、南雲代表理事の講演を軸に政策立案ツールとしての地域幸福度指標を世界に向けて発信できました。また、併設された Mobility 専門展では、宇都宮市ゼロカーボン LRT のアドバイザーである早稲田大学理工学術院教授の森本明倫氏の講演をアレンジし、世界に類を見ない地域脱炭素×ゼロカーボン LRT×スマートシティ連携モデルを紹介しました。Japan パビリオンを開設して 3 年目となった昨年は、これまで最も日本の取り組みを海外へ訴求できたといえます。

2025 年 11 月 4 日～6 日に開催される「Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2025」においても、Japan パビリオンの出展、並びに視察研修ツアーを実施する予定であり、現在、出展者 20 団体 22 小間、研修参加者 30 名が決定しております。

3) C-R MAP プログラム

これまでの活動のなかで培ってきた知見・ノウハウやネットワークを活かして、2022 年 10 月にスマートシティ推進人材等育成のための有料研修プログラム「C-R MAP プログラム (City-Region Mutually-supportive Agile & Participatory Program)」を立ち上げました（内閣府、総務省、国土交通省後援）。

第 3 回プログラムは 2024 年 8 月～2025 年 2 月に実施。受講者 61 名のうち、所定の課程を修了しました 57 名（民間企業 42 名、自治体 13 名、学生 2 名）に対して、「SCI-Japan フォロー」の資格を付与しました。

2025 年 9 月にスタートした第 4 回プログラムは、49（民間企業 29 名、官庁・自治体 18 名、学生 2 名）が受講することとなりました。

また、第 1 期フェローに対する更新講習を実施、21 名の方がフェローの資格を更新しました。

2025 年 7 月には、第 1 期・第 2 期フェローを対象にこれまで活動実績に関するアワードを実施、フェローによる相互投票、事務局推薦によって、第 1 期 2 名、第 2 期 4 名の方をフェロー・オブ・ザ・イヤーとして表彰しました。

4) WBPD OASIS プログラム

2023 年 5 月より、ウェルビーイングに基づく政策デザイン（Well Being-Based Policy Design (WBPD)）を習得するための研修プログラムとして、「WBPD OASIS プログラム」（試行版）を立ち上げました。2024 年 4 月からはこれまでのプログラムである「OASIS ガバメント」（行政職員向け）に加えて、民間企業向けの「OASIS ビジネス」、行政・企業幹部向けの「OASIS エグゼクティブ」、1 日の体験プログラム

「OASIS 1Day」、更にはこれらの最上位のレベルに位置付けられる「OASIS Master」を立ち上げました。これらのプログラムは、「C-R MAP プログラム」の上位プログラムの位置付けとして、WBPD の習得に特化したより高度、より実践的なプログラムとなっております。

OASIS ガバメント・ビジネス・マスターの実施状況（実施中・実施予定を含む、＊は2回目、★は3回目、■はマスター）：33団体

自治体：会津若松市、浜松市★、渋谷区、東広島市★、千葉市、加古川市★、山口県、前橋市＊、鎌倉市、三島市、小田原市＊、静岡県＊、姫路市＊、尾道市＊、別府市、下関市、東京都、草津市＊、市原市、富良野市

企業：アイシン＊■、インテージ、静岡新聞社、地域創生 Co デザイン研究所＊■、TIS＊■、東京海上日動火災保険、富士通、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング、LIFULL、日本オラクル、安藤ハザマ

団体：地域包括ケア研究所

大学：京都大学大学院、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、別府大学大学院

2025年9月末時点の修了認定者は以下の通りとなっております。

「OASIS Practitioner」：463名

「OASIS Master」：7名

5) 地域幸福度（Well-Being）指標の普及促進活動（分析支援業務、関連セミナー・WS）（OASIS プログラム以外）

① 分析支援業務

地域幸福度（Well-Being）指標の普及促進活動の一環として、同指標の積極活用を検討している以下の自治体に対して、分析支援サービスを提供しました（有料受託）。

提供自治体：前橋市、境町、小田原市、品川区、静岡県（ウェルビーイング連携可能性調査）

② 関連セミナー・ワークショップ

デジタル庁の受託事業として、地域幸福度（Well-Being）指標活用のための 1Day セミナー（自治体職員向け講義+体験ワークショップ）、NPO 等団体向けワークショップを実施したほか、自治体等からの依頼に応じて自治体等主催のワークショップを実施し、多くの方にご受講いただきました。

<キャラバン・ワークショップ開催実績>（デジタル庁主催）

No.	開催日	開催場所	参加者等	参加人数
第5回	2024年11月27日	石川県	自治体職員（石川県、加賀市、珠洲市、能美市） 民間事業者	25名

<NPO 等団体向けワークショップ開催実績> (デジタル庁主催)

No.	開催日時	開催場所	参加者等	参加人数
1	2024年10月6日	MURC 大阪セミナー室	NPO等団体、大学関係者、まちづくり参画メンバー他	20名
2	2024年10月20日	MURC 大阪セミナー室	市民リーダー、学生他	19名
3	2024年10月27日	ベルサール飯田橋	市民リーダー、学生他	23名
4	2025年9月28日	MURC 東京セミナー室	NPO等団体、大学関係者、まちづくり参画メンバー他	35名

<1Day セミナー開催実績> (デジタル庁以外)

No.	開催日時	主催者	参加者等	参加人数
1	2024年10月1日	富良野市	自治体職員	20名
2	2024年10月3日	横浜市8市連携スタディミーティング	自治体職員	20名
3	2024年10月10日	横浜市	自治体職員	15名
4	2024年11月27日	黒部市社会福祉協議会	自治体職員、NPO等団体、大学関係者	32名
5	2024年11月29日	横浜市議会	横浜市議会議員	60名
6	2025年1月14日	黒部市社会福祉協議会	富山県立桜井高校生徒	38名
7	2025年1月15日	日本ガス協会	会員企業	11名
8	2025年3月1日	前橋市	市民、学生	29名
9	2025年6月19日	株式会社長大	会員企業	28名

6) 公開ウェビナー

2020年4月に立ち上げたウェビナーシリーズを継続的開催しています。アーカイブ動画及びプレゼン資料については、YouTubeチャンネルにて公開しており、多くの皆さまにご視聴いただいております。

	第6期	開始以来の累計
開催回数	9	352
うち会員限定	0	20
事前登録者数	429	32,775
当日視聴者数	333	24,431
動画再生回数	約17千回	約267千回

YouTubeチャンネル：<https://www.youtube.com/channel/UCuv0theDkUMADjkkqtE8FQ>

7) WEB サロン

スマートシティの社会実装に向けての会員相互の交流・ネットワーキングの場として、WEBサロンを開始しました。毎回、スマートシティに関連した特定のテーマを設定し、それに関心を持つ会員（企業・自治体・団体等）が参加。座談会形式で情報共有・意見交換を行う企画です。

第5期はこれまでに1回実施。話題提供していただける会員を随時受け付けておりま

す。皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

No	開催日	テーマ	話題提供者	参加者
29	2024.10.31	AI・データ活用における「倫理フレームワーク」／攻めのデータ活用のための49のチェックリスト～加古川市事例紹介～	JDMC 加古川市	21名
30	2025.7.10	「都市がエンタメになる時代－スマートシティとコンテンツの共創」	株式会社ワン トゥーテン	32名
31	2025.8.1	近年の実災害経験から進化する防災DXの最前線～自治体職員の満足度を最大化したシステム開発～静岡市事例紹介～ ※参加者：官庁・自治体・大学関係者限定	デロイトトーマツコンサルティング 静岡市	16名

8) リサーチ業務

以下の調査を実施し、その結果を会員専用 WEB ページに掲載しました。

① 会員自治体向け第 5 回定例アンケート調査

2024 年 10~12 月に自治体会員向けにスマートシティの推進状況と今後の課題に関するアンケート調査（第 5 回）を実施し、各地のスマートシティの現状を統計的に把握・分析しました（回答数：142）。今回は、同時に会員企業・団体向けのアンケートも実施しました（回答数：78）。それぞれの調査結果レポートを会員サイトに公開しております。

また、この結果を紹介するウェビナーを 2025 年 4 月 15 日に開催しました。

② 地域幸福度（Well-Being）指標（Liveable Well-Being City（LWC）指標）の開発と普及促進

SCI-Japan が開発した LWC 指標は、地域幸福度を可視化する国の指標「地域幸福度（Well-Being）指標」として採用され、デジタル田園都市国家構想推進交付金「デジタル実装タイプ TYPE2/3」に採択された自治体をはじめ、多くの自治体で活用されています（2025 年 6 月時点で 183 自治体）。また、デジタル庁が主催する「地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会」のメンバーとして、代表理事の南雲（副査）をはじめ多数のエグゼクティブ・アドバイザーが参画しております。

デジタル庁の「地域幸福度（Well-Being）指標サイト」には、全国約 100 千名を対象とした全国調査や自治体が実施する個別調査、最新の客観指標データを閲覧できるダッシュボードに加えて、ガイドブックや研修動画、Well-Being 指標活用ファシリテーターの紹介・派遣事業、自治体向けアンケート調査支援システムなどが掲載されています。

<https://well-being.digital.go.jp/>

【検討会構成員（2025年9月末現在）】

- 「●」は SCI-Japan 役員、エグゼクティブ・アドバイザー
●前野 隆司氏（座長）、●南雲 岳彦（副査）、●石川 善樹氏、●内田 由紀子氏、
●太田 直樹氏、●小泉 秀樹氏、●白坂 成功氏、鈴木 寛氏、関 治之氏、
井上 亮太郎氏、●古賀 千絵氏、●吉村 有司氏、中室 牧子氏、細野 美奈子氏

9) 有識者コラム

以下の通り、計 17 本のコラムを会員専用 WEB ページに掲載しました（第 1 期からの累計で 129 本）。

2024.10.10

建築分野のサステイナビリティ向上 #3：サーキュラーエコノミー型ビジネスモデルの普及に向けた機会と課題

石山 亮/野村総合研究所

2024.10.17

プレイした人たちを没頭させるコレクティブインパクトゲーム

平本 睦太郎/金沢工業大学 SDGs 推進センター所長

2024.11.19

ゲームによって学べるコレクティブインパクトの本質

平本 睦太郎/金沢工業大学 SDGs 推進センター所長

2024.11.27

都市と健康 #1：健康の社会的決定要因とは？ゼロ次予防について

古賀 千絵/東京大学 先端科学技術研究センター特任助教

2024.12.10

スマートシティがもたらす地域へのインパクト

大島 良隆、須藤 一磨、石山 秀明／KPMG コンサルティング株式会社

2025.1.6

都市と健康 #2：ゼロ次予防に関する研究について

古賀 千絵/東京大学 先端科学技術研究センター特任助教

2025.1.15

位置情報データが描く未来：LBMA Japan が挑む未来とスマートシティ実装

#1 「位置情報データの可能性と課題、そして LBMA Japan の設立からこの 5 年間」
川島 邦之/一般社団法人 LBMA Japan 代表理事

2025.1.22

東成瀬村におけるローカルスタートアップ活躍支援を通じた生活サービス等 DX の社会実装の取り組み

黒澤 隆/KPMG コンサルティング株式会社

2025.2.3

位置情報データが描く未来：LBMA Japan が挑む未来とスマートシティ実装

#2 「スマートシティを動かすデジタルインフラとしての位置情報」

川島 邦之/一般社団法人 LBMA Japan 代表理事

2025.2.14

データ活用による合意形成の円滑化（地域公共交通を題材として）

伊藤 昇治、渡邊 浩良/KPMG コンサルティング株式会社

2025.2.20

Blue Economy が拓くスマートシティの可能性 #1

中嶋 健人/アビームコンサルティング株式会社 UK Branch

2025.3.13

Blue Economy が拓くスマートシティの可能性 #2

佐野 政徳/アビームコンサルティング株式会社 未来価値創造戦略ユニット

2025.5.28

防災 DX の最前線と自治体職員の満足度を最大化したシステム開発手法 #1

近年の実災害経験から進化する防災 DX の最前線

浜名 弘明、小宮 啓輔、杉江 一磨／デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

2025.6.16

防災 DX の最前線と自治体職員の満足度を最大化したシステム開発手法 #2

関連システム間の情報一元化と災害対応判断高度化に資する総合的な防災情報システムのご紹介

浜名 弘明、小宮 啓輔、杉江 一磨／デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

2025.7.10

防災 DX の最前線と自治体職員の満足度を最大化したシステム開発手法 #3

自治体職員満足度を最大化したアジャイル開発×人間中心設計のシステム設計とは
浜名 弘明、小宮 啓輔、杉江 一磨／デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

2025.7.28

地方創生の視点から注目される若年女性

矢島 洋子／三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング

2025.9.12

地方自治体における女性活躍推進

矢島 洋子／三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング

10) 会員向けメールマガジン

第 6 期には計 30 本（第 1 期からの累計で 148 本）のメールマガジンを会員向けに定期配信しました（メールマガジン登録者数は、**2025 年 9 月末現在で 1,457 名**）。

なお、2025 年 8 月以降は、定期メールマガジンの配信を一旦中止し、配信内容・頻度の見直し等を検討しております。

11) オープンスクエア・会員マッチング

会員からの依頼に基づき、会員主催のイベント情報・公募情報・レポート等を会員専用サイトのオープンスクエアに掲載するほか、SCI-Japan の各種 SNS で広く発信しております。第 6 期の実績は下記のとおりとなります。

- ✓ イベント・公募情報 82 件 (累計 507 件)
- ✓ 書籍・レポート 3 件 (累計 15 件)

上記のほか、会員からの依頼に基づき、会員相互の意見交換・ヒアリング等を目的としたマッチングを実施しております。第 6 期の実績は下記のとおりとなります。なお、今後は新たに導入しました「ナレッジシップ」サービス上で会員相互のマッチングを推進する予定です。

- ✓ マッチング依頼件数 5 件 (累計 52 件)
- ✓ 面談成立件数 5 件 (累計 35 件)

12) ナレッジシップサービス

会員限定の情報・知見共有プラットフォームとして、「ナレッジシップ」WEB サービスを 2024 年 4 月にトライアル開始しました。

全国の自治体情報や補助金情報、企業のソリューション、レポートなどを集約して掲載し、スマートシティ・まちづくりの施策を推進するうえで必要なナレッジを共有することに加えて、「投稿機能」、「マッチング・相談機能」を活用していただくことで、会員相互（特に民間企業と自治体）のネットワーキングやマッチング支援強化をめざします。主な実績は以下の通りとなります。

- ✓ 年間 PV 数 : 28,841PV (企業・団体 : 6,224PV、自治体 : 22,617PV)
- ✓ コンテンツ掲載数 : 2,184 件

自治体予算情報	1,486 件
補助金情報	657 件
企業ソリューション	26 件
事例・レポート	15 件

- ✓ ID 登録数 : 250 ID (企業・団体 : 102 ID、自治体 : 148 ID)
- ✓ 相談・マッチング件数 : 公募 1 件に対して、紹介 4 社うち面談 2 社

今後も「ナレッジシップ」サービスを通じて、自治体と企業の連携を促進し、施策推進を支援していきます。

13) 正会員交流会

第 6 期の正会員交流会は、2025 年 5 月 20 日、日経カンファレンスルームにて開催しました。当日は、南雲代表理事による地域幸福度指標の最新動向に関する講演、トークセッションを実施した後、SCI-Japan の活動状況や今後の予定についてご紹介させていただきました。終了後は立食の懇親会にて、会員相互の交流を図りました。

14) 地域幸福度 (Well-Being) 指標等個別相談会

新たな企画として、正会員を対象とした地域幸福度 (Well-Being) 指標等個別相談会（無料）を実施しました。

3 月 4 日、10 日、4 月 23 日の 3 日間で計 13 社の正会員企業にご参加いただき、南雲

代表理事より、各社における地域幸福度（Well-Being）指標の活用に関してさまざまなアドバイスを実施させていただきました。

15) イベントの共催・後援等（除く海外パートナーとの協働）

以下のイベント等に共催・後援・企画協力を行いました。

依頼者	会員種別	協働形態	イベント名	開催年月
金沢工業大学	賛助	後援	第2回 Well-being & Sustainable City アイデアコンテスト	2024/12-2025/1
オープンガバメント・コンソーシアム	賛助	後援	OGCシンポジウム 2025	2025/3/10
ESRIジャパン株式会社	正会員	後援	第22回 GIS コミュニティフォーラム	2025/5/29-30
scheme verge 株式会社	準会員	後援	UrbanTech 2025—都市イノベーションの協調領域—	2025/5/9
金沢工業大学・LODU	賛助	協力	カードゲーム体験会	2025/5/6
オープンガバメント・コンソーシアム	賛助	後援	OGCシンポジウム 2025 in 長野	2025/7/31

16) 海外パートナーとの協働

海外パートナーとの協働で以下の活動を実施しました。

① UN-Habitat Global Conference of the Quality of Life Initiative

国連人間居住計画（UN-Habitat）主催、エジプト・カイロでの国際会議に Quality Assurance Board メンバーでもある南雲代表理事が出席、OASIS 研修を基にしたワークショップを実施しました。（2024年11月2日-3日）

② World Urban Forum in Cairo

エジプト・カイロで開催のフォーラムで、南雲代表理事が地域幸福度（Well-Being）指標について講演しました。（2024年11月5日）

③ Smart City Expo World Congress 2024

バルセロナの Smart City Expo World Congress に於いて、南雲代表理事が Expo メインステージ「Congress」、ソウルパビリオンからの依頼を受け、地域幸福度（Well-Being）指標について講演しました。（2024年11月5日～7日）

④ Cityscape Global 2024

サウジアラビア・リヤドで開催の Expo の招待を受け、南雲代表理事が地域幸福度（Well-Being）指標について講演しました。（2024年11月11日）

⑤ RMITベトナム/Smart and Sustainable Cities Forum 2024

ロイヤルメルボルン工科大学より、南雲代表理事がパネルディスカッション登壇の依頼を受け、日本のスマートシティについて紹介しました。（2024年11月22日）

⑥ Quality of Life Initiative Technical Implementation Webinar

国連人間居住計画（UN-Habitat）依頼により、南雲代表理事が会議に参加しました。（2024年12月18日）

⑦ Quality Assurance Panel Meeting

国連人間居住計画（UN-Habitat）依頼により、南雲代表理事が会議に参加しました。

た。 (2024 年 11 月 22 日)

⑧ 台湾スマートシティサミット

昨年に続き、Taiwan Computer Association (MOU 締結先) と台北市、高雄市が主催、アジア最大のスマートシティエキスポの招待を受け、南雲代表理事が日本のスマートシティについて登壇。また同じく International Division, Institute for Information Industry (III) (MOU 締結先) の依頼により、高雄市で OASIS 研修を基にしたワークショップを実施しました。(2025 年 3 月 18 日-21 日)。

⑨ C40 ポッドキャスト出演

世界 96 都市が参加する C40 (世界大都市気候先導グループ) のポッドキャストに南雲代表理事が出演しました (2025 年 3 月 26 日)

⑩ Global Institute on Innovation Districts Global Summit

世界各地のイノベーションディストリクトで構成される The Global Network を展開しており、その推進において世界をリードしている GIID のサミット(メキシコ・モントレー)に南雲代表理事が出席しました。また GIID とは MOU を締結しました。 (2025 年 4 月 8 日-13 日)

⑪ UN CitiVerse Second Meeting Group 1

2025 年 3 月南雲代表理事が、国連が主導、特に国連人間居住計画 (UN-Habitat) を通じて、メタバース技術を活用して都市計画、持続可能な開発、包摂的な都市管理を推進するグループのメンバーに選任され、会議に参加しました。 (2025 年 4 月 22 日)

⑫ Panel Discussion: Quality of Life Index

大阪・関西万博のサウジアラビア館において、南雲代表理事が QOL 主催パネルディスカッションに登壇。QOL と SCI-Japan とのコラボレーションについて発表しました。 (2025 年 5 月 15 日)

⑬ UN-HABITAT Quality Assurance Panel Meeting

国連人間居住計画 (UN-Habitat) 依頼により、南雲代表理事が会議に参加しました。 (2025 年 6 月 26 日)

⑭ Smart City Expo Kuala Lumpur 2025 (SCEWC のスピノオフイベント)

マレーシア・デジタル経済公社 (MDEC) が主催、クアラルンプールで開催された「Smart City Expo Kuala Lumpur 2025」において、北村専務理事は国土交通省の JASCA ブースの出展と国土交通省総合政策局小笠原審議官の講演を支援しました (2025 年 9 月 17 日~19 日)。

⑮ フィンランドパビリオンイベント参加

大阪・関西万博のフィンランドパビリオンにおいて、Well-Being や Smart city のイベント開催。フィンランドより招待を受け参加いたしました。(2025 年 9 月 30 日)

17) 大学・大学院での次世代人材育成

大学・大学院での次世代人材育成の活動として、南雲代表理事が大学での講義を実施しています。

期 間	内 容
2024／9～2025／3	専修大学経営学部／「サステナブル都市論」講義

2024/10~2025/1	京都大学経営管理大学院・公共政策大学院「ウェルビーイングに基づくスマートシティ政策デザイン」
2025/4~2025/7	京都大学経営管理大学院・公共政策大学院「ウェルビーイングに基づくスマートシティ政策デザインⅠ」
2025/4~2025/7	慶應義塾大学 SFC／「ウェルビーイングに基づくまちづくりの政策デザイン」講義
2025/7~2025/8	横浜市立大学／「総合研究科目1」講義
2025/8	山口大学／「ウェルビーイング学」講義

18) デジタル化横展開推進協議会への参画

デジタル化横展開推進協議会／Well-Being 指標推進・展開コミュニティは、南雲代表理事が責任者を務める中、地域幸福度（Well-Being）指標を全国展開し、自律的な共助のまちづくりを推進するべく、総勢 225 名（8月8日現在）・7つのチームが精力的に活動しています。

昨年10月にキックオフ会議を実施、12月、2月、3月、6月に定例会議を開催し、各チームのプロジェクトチャーターに基づき、進捗報告、意見交換を実施しました。3月27日のデジタル庁主催「デジタル地方創生イベント」では、南雲代表理事が本コミュニティの中間報告を実施。具体的な活動としては、デジタル庁内ワークショップ実施、Well-Being 指標を活用した政策形成、予算編成等を整理・体系化したベストプラクティス集作成作業の進捗、Well-Being 指標を活用したファイナンススキームの検討等、が挙げられます。

6月にデジタル化横展開推進協議会全体の総会を実施、今までの各コミュニティ活動の総括を実施するとともに、今期（7月～）の活動計画を報告しました。

2-2. 対外情報発信

1) 公式ホームページ（2024年10月~2025年9月） PV数：約141千PV

2) SNSによる発信（2025年7月31日現在）

- ① Facebook（日本語・英語）：フォロワー2,918名
- ② X（旧Twitter）（日本語）：フォロワー1,323名
- ③ LinkedIn（日本語・英語）：フォロワー1,113名
- ④ YouTube：登録者3,770名、掲載動画 337本、視聴回数 約267千回
- ⑤ Peatix：フォロワー4,278名

3) 広告企画掲載

- ① 2024年12月25日 日本経済新聞朝刊（全国版）3ページ
「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2024 特集記事」
※広告欄（7段）にSCI-Japanとしての広告を掲載

- ② 日本経済新聞電子版 2025年2月～2025年3月31日
「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2024 特集記事」
- ③ 2025年6月24日 日本経済新聞朝刊（全国版）2面モノクロ
「地域幸福度指標で活力ある街づくり 「奇跡」の横展開 地方創生に弾み」記事

体広告

※下段 7 段（2 面）に会員ロゴ一覧を掲載

- ④ 2025 年 6 月 27 日日本経済新聞朝刊（全国版）15 段モノクロ 特別フォーラム告知
- ⑤ 2025 年 7 月 7 日日本経済新聞朝刊（全国版）5 段モノクロ 2 面 特別フォーラム告知
- ⑥ 2025 年 9 月 9 日日本経済新聞朝刊（全国版）3 ページ 特別フォーラム採録記事
「Well-Being 指標が結ぶデジタル公共財の横展開と地方創生 2.0」

4) 南雲代表理事によるスマートシティ関連の対外活動

※ご要望があれば、南雲代表理事による社内勉強会の講師等の活動もアレンジします
(会員様優先対応)。

①アドバイザー等への就任（2025 年 9 月 30 日現在）

【国】

- ✓ デジタル庁：デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会 委員（副査）
- ✓ デジタル庁：デジタル化横展開推進協議会 運営委員
- ✓ 内閣府：公文書管理委員会 委員
- ✓ 内閣府：戦略イノベーション創出プログラム第 3 期包摂的まち・くらしづくりラウンドテーブル 委員
- ✓ 経済産業省：IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター アドバイザリー ボードメンバー
- ✓ 国立研究法人産業技術総合研究所 TR 開発国内委員会 委員

【自治体】

- ✓ 東京都：東京都官民連携データプラットフォーム協議会 委員
- ✓ 浜松市：フェロー／浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム 運営委員会 副委員長
- ✓ 前橋市：政策アドバイザー
- ✓ 横浜市：DX アドバイザー
- ✓ 横浜市：地方創生推進連絡会 委員
- ✓ 横浜市：アジア・スマートシティ会議 企画委員
- ✓ 東広島市：スマートシティ政策アドバイザー
- ✓ 鎌倉市：スマートシティ推進参与
- ✓ 加古川市：LWC 政策アドバイザー
- ✓ 千葉市：千葉市新基本計画審議会スマートシティ部会 委員
- ✓ 札幌市：Well-Being 指標アドバイザー
- ✓ 会津若松市：スマートシティ会津若松 アドバイザー
- ✓ 下関市：スマートシティ推進協議会 アドバイザー
- ✓ 茨城県境町：参与
- ✓ 渋谷区：一般社団法人渋谷国際都市共創機構 理事
- ✓ 三島市：スマートシティ推進フェロー

- ✓ 岐阜市：総合戦略アドバイザー
- ✓ 山口県：デジタル実装推進アドバイザー
- ✓ 兵庫県：スマートシティモデル事業アドバイザー
- ✓ 小田原市：エグゼクティブデジタルアドバイザー
- ✓ 尾道市：ウェルビーイング政策アドバイザー
- ✓ 野々市市：SDGs アドバイザリーボード 委員
- ✓ 草津市：草津市健幸政策アドバイザー
- ✓ 静岡県：フェロー
- ✓ 静岡県：静岡県総合計画審議会 委員
- ✓ 姫路市：スマートシティ・アドバイザー

【民間】

- ✓ 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授
- ✓ 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授
- ✓ 京都大学経営管理大学院 客員教授
- ✓ 山口大学 ひと・まち未来共創学環 客員教授
- ✓ 横浜市立大学 研究・产学連携推進センター 特任教授
- ✓ 立命館大学 総合科学技術研究機構 招聘教授
- ✓ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 客員教授
- ✓ 金沢工業大学 SDGs 推進センター 客員教授
- ✓ 東海大学 総合社会学研究所 客員教授
- ✓ 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
- ✓ 国際大学 GLOCOM 上席客員研究員
- ✓ 学校法人うつほの杜学園 特別顧問
- ✓ 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム フェロー
- ✓ 一般社団法人 AiCT コンソーシアム 顧問
- ✓ 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム アドバイザー
- ✓ 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 理事
- ✓ 一般社団法人 Govtech 協会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人全国地域ビジネス協会 自動運転“地域モビリティ”コンソーシアム運営委員会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人スポーツウェルビーイング推進協議会 アドバイザー
- ✓ 全国 Town & Gown 構想推進協議会 アドバイザー
- ✓ プロトタイプ政策研究所 メンバー
- ✓ Hokkaido F Village X リソースパートナー
- ✓ 一般社団法人 Culture Plus アドバイザー
- ✓ 一般社団法人コミュニティドライブ ナレッジパートナー
- ✓ 一般社団法人ウェルビーイング学会 理事

【海外】

- ✓ UN-Habitat（国連人間居住計画）：Quality Assurance Panel Member, UN-Habitat Global Quality of Life Initiative

- ✓ UN-Habitat (国連人間居住計画) : ITU CitiVerse Evaluation and Assessment Group Member
- ✓ フィンランド財務省 : オーロラ AI プロジェクト・グローバルネットワーク (gHAIR: Global Human-Centric AI Transformation Research Network) 創設メンバー
- ✓ ロイアルメルボルン工科大学 シニア・フェロー
- ✓ Open & Agile Smart Cities (OASC) 日本チャプター代表
- ✓ ロイアルメルボルン工科大学 Vietnam Smart and Sustainable Cities Hub アドバイザリーボード

② イベント等への登壇（2024 年 10 月～2025 年 7 月）主催イベント・OASIS 等を含む

実施日	内容	会員種別
24年10月1日	富良野市職員向け 1Day 研修	賛助
2日	前橋市 OASIS 発表会	賛助
3日	横浜8市連携スタディミーティング	賛助
6日	デジタル庁ワークショップ大阪 NPO 等団体向け	賛助
7日	姫路市 OASIS 第4回	賛助
8日	デジタル田園都市構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会（第7回）	賛助
8日	加古川市 OASIS 発表会	賛助
9日	静岡県総合計画審議会	賛助
9日	アイシン OASIS 第5回	
10日	横浜市職員向け 1Day 研修	賛助
14日	第2回おだわらデジコン城下町 最終審査	賛助
15日	浜松市 OASIS 第5回	賛助
16日	東広島市 OASIS 第4回	賛助
17日	尾道市 OASIS 第5回	賛助
18日	TDLC20周年テクニカル・セッション	賛助
20日	デジタル庁ワークショップ大阪（住民向け）	賛助
21日	インタビュー PIAZZA(株)	
22日	浜松市 Well-Being アワード表彰式	賛助
22日	浜松市 Well-Being オンラインフォーラム	賛助
23日	バナソニック Fujisawa SST 次期構想発表会	賛助
23日	第13回アジア・スマートシティ会議	賛助
24日	Y-SHIP サイドイベント@横浜	賛助
27日	デジタル庁ワークショップ東京（住民向け）	賛助
28日	姫路市 OASIS 第5回	賛助
29日	下関市 OASIS 第4回	賛助
30日	みなべ町キックオフイベント	賛助
11月2日-3日	カイロ UN-Habitat Global Conference of the Quality of Life Initiative	
5日	カイロ World Urban Forum ‘Happy City: Viewing the City through a Quality of Life Lens’	
7日	バルセロナ Smart City Expo World Congress2024	
7日	バルセロナ Seoul Digital Foundation	
11日	リヤド Cityscape Global 2024	
19日	姫路市 OASIS エグゼクティブ	賛助

20日	東広島市 OASIS 第5回	賛助
12月9日	デジタル庁 職員向けワークショップ	賛助
12日	浜松市 OASIS 発表会	賛助
17日	下関市 OASIS 発表会	賛助
18日	東広島市 OASIS 発表会	賛助
18日	Quality of Life Initiative Technical Implementation Webinar	賛助
19日	COINEXT（企業シンポジウム）	賛助
20日	鎌倉市 自治体シンポジウム「第10回自治体シンクタンク研究交流会議」	賛助
20日	別府 OASIS 発表会	賛助
25年1月8日	草津市 OASIS 第2回	賛助
9日	東京都スマートシティワークショップ①	賛助
10日	インタビュー 岩手県	賛助
14日	黒部市福祉協議会依頼、桜井高校	賛助
15日	日本ガス協会 1Day 研修	賛助
20日	草津市 OASIS 第3回	賛助
21日	下関 OASIS 発表会	賛助
23日	東京都スマートシティワークショップ②	賛助
2月3日	姫路市 OASIS 発表会	賛助
4日	草津市 OASIS 第4回	賛助
6日	関西財界セミナー	賛助
10日	第4回「包摂的まち・くらしづくりラウンドテーブル」委員会	賛助
11日	Quality Assurance Panel Meeting	賛助
12日	Well-Being ロジックツリー×ISO（第6回）	賛助
13日	姫路ライフ・スマート都市推進コンソーシアム令和6年度第2回総会	賛助
13日	第2回よこてん・WB 指標コミュニティ定例会議	賛助
18日	草津市 OASIS 第5回	賛助
19日	日立東大ラボ・産学協創フォーラム	賛助
20日	東京都スマートシティワークショップ③	賛助
21日	福井県高浜市ローカルゼブラ地域報告会	賛助
23日	みなべ町ウェルビーアイニングセミナー	賛助
27日	産総研 包摂的なまちづくり・ひとつづくりシンポジウム	賛助
3月1日	前橋市_Well-being 指標 WS	賛助
3日	市原市 OASIS 第1回	賛助
4日	Fourth Steering Committee meeting of the International Alliance（タンペレ市オンライン）	賛助
5日	インタビュー 静岡新聞ウェルビーイングウィーク知事対談	
8日	YOKOHAMA International Open Data Day 2025	賛助
11日	収録 SBS ラジオ ウェルビーイングウィーク	
12日	Well-Being ロジックツリー×ISO（第7回）	賛助
13日	市原市 OASIS 第2回	賛助
15日	かこがわ Well-Being カフェ	賛助
17日	デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会（第8回）	賛助
18日-22日	台湾スマートシティサミット Expo	賛助
18日	令和6年度野々市市SDGsアドバイザリーボード会議	賛助
19日	Smart Pole Development in Future Cities	賛助
20日	AI Empowering Future Urban living	賛助
21日	高雄市 指標活用ワークショップ	賛助

24日	調布市 職員向けウェルビーイング指標講演	賛助
25日	長野県みらい基金 LWC について地域での活用勉強会	
26日	ポッドキャスト出演 C40	
27日	浜松市デジスマ官民連携 PF 第3回運営委員会	賛助
27日	IPA スマートビル・カンファレンス	賛助
27日	日経×デジ庁 デジタル地方創生イベント「デジタル公共財と Well-Being が拓く未来」	賛助
31日	草津市 OASIS 発表会	賛助
4月7日	市原市 OASIS 3回目	賛助
8日～13日	Global Institute on Innovation Districts Global Summit	
14日	インタビュー 日経/Well-being Initiative	正会員
15日	静岡県幹部職員向けウェルビーイング研修	賛助
15日	ウェビナー 自治体アンケート	
16日	万博 ワントゥーテン/キーノートセッション「スマートシティの現在地—世界の潮流と日本の挑戦	正会員
21日	草津市 OASIS 1回目	賛助
22日	加古川 OASIS 1回目	賛助
22日	UN CitiVerse Second Meeting Group 1	
24日	市原市 OASIS 4回目	賛助
5月7日	JCD まちづくりデザイン Week (あいさつ動画撮影)	賛助
8日	Well-Being ロジックツリー×ISO(第9回)	賛助
8日	SMART CITY TOKYO Global Networking Night 2025	賛助
9日	UrbanTech 2025 :パネルトーク①『イノベーション地区の方程式』	賛助
12日	尾道市 OASIS 1回目	賛助
13日	加古川 OASIS 2回目	賛助
14日	姫路市 OASIS 1回目	賛助
15日	万博 Panel Discussion: Quality of Life Index	
19日	市原市 OASIS 5回目	賛助
20日	SCI-Japan 正会員向け懇親会	賛助
22日	横浜隼人中学高等学校講義①	
26日	尾道市 OASIS 2回目	賛助
27日	静岡県ウェルビーイング指標を活用した政策形成手法①	賛助
28日	静岡県ウェルビーイング指標を活用した政策形成手法②	賛助
29日	横浜隼人中学高等学校講義②	
6月2日	草津市 OASIS 2回目	賛助
2日	日経インタビュー(6/24 紙面)	
3日	東広島市 OASIS 1回目	賛助
3日	東広島市 UN-Habitat WS①	賛助
4日	デジタル庁 自治体説明会	賛助
4日	横浜隼人中学高等学校講義③	
5日	市原市 OASIS 市長報告会	賛助
11日	横浜市 UN-Habitat ワークショップ①	賛助
12日	第4回よこてん・WB 指標コミュニティ定例会議	賛助
16日	浜松市 OASIS 1回目	賛助
17日	加古川 OASIS 3回目	賛助
17日	Well-Being ロジックツリー×ISO(第10回)	賛助
17日	横浜市 UN-Habitat ワークショップ②	賛助
18日	東広島市 OASIS 2回目	賛助
19日	長大 1Day	正会員
23日	みなべ町 OASIS エクゼクティブ	賛助

23日	草津市 OASIS 3回目	賛助
24日	浜松市 OASIS 2回目	賛助
25日	渋谷区 UN-Habitat ワークショップ①	賛助
25日	自治体向けオンラインワークショップ	
26日	いわき市 OASIS エグゼクティブ	賛助
26日	UN-HABITAT Quality Assurance Panel Meeting	
30日	よこてん 2025年度第一回運営委員会	賛助
30日	内閣府主催 地理空間データ連携基盤	賛助
7月5日	横浜市大 R7「総合研究科目1」	賛助
7日	尾道市 OASIS 3回目	賛助
8日	東広島市 OASIS 3回目	賛助
8日	東広島市 UN-Habitat WS②	賛助
8日	2025年度第一回総会 デジタル化横展開推進協議会	賛助
9日	姫路市 OASIS 2回目	賛助
9日	草津市 OASIS 4回目	賛助
10日	静岡県 第1回総合計画審議会	賛助
14日	浜松市 OASIS 3回目	賛助
14日	Well-Being 有識者検討会・第9回目	賛助
15日	SCI-Japan 特別フォーラム	
16日	渋谷区 UN-Habitat ワークショップ②	賛助
17日	自治体総合フェア	賛助
19日	横浜市大 R7「総合研究科目1」	賛助
22日	富良野市 OASIS 1回	賛助
23日	富良野市 OASIS 2回	賛助
24日	JCD 主催 GXDX CITY2025 まちづくりデザイン Week	正会員
26日	横浜市大 R7「総合研究科目1」	賛助
28日	尾道市 OASIS 4回目	賛助
29日	自治体向けオンラインワークショップ	
30日	加古川 OASIS 4回目	賛助
31日	姫路市 OASIS 3回目	賛助
31日	C-RMAP 第1期生 フェロー更新講習	
8月2日	横浜市立大学 R7「総合研究科目1」	賛助
5日-7日	山口大学 ウェルビーイング学	賛助
18日	浜松市 OASIS 4回目	賛助
19日	尾道市 OASIS 5回目	賛助
20日	東広島市 OASIS 3回目	賛助
21日	姫路市 OASIS 4回目	賛助
23日-24日	デジタル庁ファシリテーター養成講座(東京)	賛助
25日	加古川市 OASIS 5回目	賛助
26日	草津市 OASIS 5回目	賛助
27日	富良野市 OASIS 3回目	賛助
28日	富良野市 OASIS 4回目	賛助
30日-31日	デジタル庁ファシリテーター養成講座(東京)	賛助
9月2日	C-R MAP 開講式・懇親会	
4日	C-R MAP 地域幸福度指標とスマートシティ1	
7日	日本システムデザイン学会 基調講演	
8日	第2回日経ウェルビーイングイニシアティブ社会指標委員会	賛助
10日	C-R MAP 地域幸福度指標とスマートシティ2	
11日	C-R MAP 都市経営人材・リーダーシップ論1	
15日	赤米サミット in 岡山総社 講演+パネルディスカッション	賛助
20日-21日	デジタル庁ファシリテーター養成講座(東京)	賛助

22日	草津市OASIS発表会	賛助
26日	国際シンポジウム What is the Well-being in East-Asia	賛助
27日	デジタル庁ファシリテーター更新講座（東京）	賛助
28日	デジタル庁 NPO・市民向けワークショップ（東京）	賛助
30日	大阪・関西万博 フィンランドパビリオン	賛助

2-2. 外部団体との提携等

1) 関連組織とのMOU締結

提携先	概要
Greater London Authority	英国のグレーティー・ロンドンにおいて最上位に位置する地方自治体
Connected Places Catapult	英国のオープンイノベーションを推進する非営利団体
Royal Danish Embassy in Japan	駐日デンマーク王国大使館
Spain Embassy in Japan	駐日スペイン大使館経済商務部
Fira de Barcelona	バルセロナの世界最大級スマートシティイベント Smart City Expo World Congress を主催
WeGo (World Smart Sustainable Cities Organization)	ソウルに事務局を置く、アジアを中心にスマートシティを推進する非営利国際団体。WeGO の会員数は 200 を超え、中国、ロシア、トルコ、メキシコに海外事務所を設置
Eden Strategy Institute	シンガポールの研究機関。独自のスマートシティ・ガバメントランキングを公表
SmartCT	フィリピンに事務局を置く、アジアのスマートシティを推進する団体
MyData Global	パーソナルデータに関する個人中心のアプローチを推進するグローバルな非営利団体
FIWARE Foundation	FIWARE の普及を民間主導で推進するグローバルな非営利団体
Open & Agile Smart Cities	世界中の都市間のデジタル推進を支援するベルギーの非営利団体
Smart City Association (SCA)	韓国におけるスマートシティを推進する政府系団体
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 白坂研究室	宇宙開発から社会システムまで、人が経験的・感覚的におこなっていることを体系化する研究を幅広い分野で実施
日本版 Well-Being イニシアチブ	日本経済新聞社、公益財団法人 Well-being for Planet Earth、参画企業により創設。Well-being を測定する新指標開発やウェルビーイング経営の推進等に取り組んでいる
株式会社日経 BP	日本経済新聞グループの出版社で、日経ビジネスをはじめとする「日経 XX」の雑誌を出版。日経 BP 総研の名で「シティブランド・ランキング」ほか独自の調査も実施
東京海上日動火災保険株式会社	Liveable Well-Being City 指標における自治体の災害脆弱性診断ロジックの形成に向けて協働中
株式会社カヤック	関係人口づくりと移住のためのマッチングサービス『SMOUT』を全国で展開しており、Liveable Well-Being City 指標の開発・展開において協働中
一般社団法人コード・フォー・ジャパン	市民主体で課題解決を行うコミュニティづくりの支援等に取り組んでいる Civic Tech の団体
公益財団法人九州先端科学技術研究所	「ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州」(BODIK (BigData & OpenData Initiative in Kyushu)) を設立し、オープンデータの活用に注力中

一般社団法人循環経済協会	限りある天然資源を有効活用しながら、資源効率性の高い持続的に発展可能な経済社会（循環経済社会）の実現を目指して各種事業を展開
一般社団法人官民共創 HUB	「官民共創」による社会課題の解決や新規事業の創出を目指して、それをサポートするための場（コミュニティ、イベントスペース、イベントなど）を提供
Scrum Ventures LLC	サンフランシスコと東京を拠点とするベンチャーキャピタル。『SmartCity X』を実施
ハーチ株式会社	ソーシャルグッド、シェアリングエコノミー、教育など幅広い分野でウェブメディアを企画・運営
横浜市立大学	横浜市と連携しながら、データサイエンス分野にて COI-NEXT の共同研究等に取り組んでいる
Institute for Information Industry	イベントにおける協力、日台のスマートシティに関する意見交換等を行う
TAIPEI COMPUTER ASSOCIATION	イベントにおける協力、日台のスマートシティに関する意見交換等を行う
RMIT University	イベントにおける協力、日豪のスマートシティに関する意見交換を行う。
Smart City Innovation Cluster	関連項目の開発とコミュニケーション分野での協力
TNO (オランダ応用科学研究所)	TNO がもつデジタルツインのツールが Well-being 指標の評価に寄与することを検討する。
株式会社地域創生 Co 研究所	OASIS ガバメントの実施に関する業務提携
TIS 株式会社	OASIS ガバメントの実施に関する業務提携
株式会社 PoliPoli	ウェルビーイング指標に関連する協働の覚書
Al Madinah Region Development Authority	スマートシティ分野における協働のための覚書
Global Institute on Innovation Districts	イノベーション地区分野における協働のための覚書
株式会社スペースデータ	デジタルツイン・AI を活用した Liveable Well-Being City 指標に関する研究開発のための協働に関する覚書
株式会社ファンベースカンパニー	地域幸福度指標とファンベースを軸にした社会課題解決支援のための協働に関する覚書
株式会社 AIST Solutions	地方自治体におけるウェルビーイング推進に資する国際標準開発に関する共同研究契約書

2) 関連団体等への入会 (原則、会費無料)

入会団体	会員種別
グローバル・スマートシティ・アライアンス (GSCA)	パートナー
Open & Agile Smart Cities (OASC)	会員
日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク官民協議会 (JASCA)	会員
FIWARE Foundation	Associate member
スマートシティ官民連携プラットフォーム	オブザーバー
スーパーシティ・オープンラボ	会員
環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム	会員
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム	3号会員
デジタル海外展開プラットフォーム	会員
一般社団法人データ社会推進協議会	特別会員
一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム	賛助会員
一般社団法人 My Data Japan	特別会員

都市 OS 利活用協議会	会員
サイバーセキュリティ協議会	第 4 期構成員
一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター	賛助会員
ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ (J-CEP)	オブザーバー
一般社団法人才ルタナティブデータ推進協議会	賛助会員
一般社団法人 JCoMaaS	行政事業者団体等会員
一般社団法人循環経済協会	賛助会員
一般社団法人データサイエンティスト協会	特別会員
一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会	非営利団体等会員
ZETA アライアンス	特別会員
一般社団法人渋谷国際都市共創機構	賛助会員
デジタル＆ファイナンス活用による未来型政策協議会	連携団体
一般社団法人渋谷未来デザイン	賛助会員
一般社団法人渋谷未来デザイン データコンソーシアム	会員
一般社団法人 CiP 協議会	賛助会員
itSMF Japan	特別会員
Japan Innovation Bridge (J-Bridge) パートナー制度	パートナー
東京商工会議所	会員
全国 Town & Gown 構想推進協議会	支援会員
一般社団法人ドローンサービス推進協議会	会員
東京データプラットフォーム	法人会員
日西経済委員会	法人会員
インパクトコンソーシアム	法人会員
一般社団法人 PHR 普及推進協議会	特別会員
一般社団法人 Govtech 協会	賛助会員
一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム (JDMC)	特別会員
一般社団法人 LBMA Japan	相互団体会員
一般社団法人 LIVING TECH 協会	特別会員
UN-Habitat Tokyo Platform for Sustainable Cities in Asia and Pacific (Tokyo-SUSCAP)	会員

以上